⚠ お手入れ上の注意

●ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となるおそれがあります。

●本体を洗った後は、すぐに水分を拭き取ってください。
水滴の跡が残ったり、サビやものを汚す原因となります。

●シンナー、クレンザー、金属たわし、化学雑巾などは使用しないでください。
キズやサビ、破損の原因になります。

●本体やふたキャップの煮沸はしないでください。
変形や漏れの原因になります。

●塩素系漂白剤は使用しないでください。
サビ、破損の原因になります。

●酸素系漂白剤は本体外びん(塗装面)にはご使用いただけません。
塗装が劣化するおそれがあります。

●本体・ふたキャップの浸け置き洗いなどはしないでください。

●ふたキャップを本体に取り付けたままお手入れしないでください。
お手入れの際はそれぞれ取りはずした状態でおこなってください。

●長時間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。

●スポーツ飲料を入れた時は、使用後すぐにお手入れをしてください。
においの付着やサビ等の原因になります。

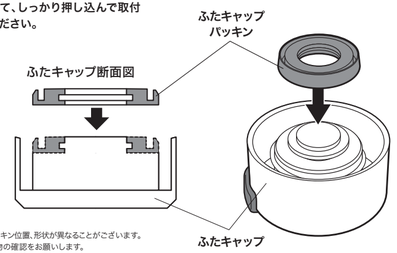
●食器洗浄機・乾燥機を使用する際、次の点を必ず守ってください。
- **■本体・ふたキャップは、それぞれ取りはずした状態で洗浄してください。**
  内部に水分が残り、におい、汚れ、劣化の原因となるおそれがあります。
- **■ヒーター付近や温風吹き出し口の近くには置かないでください。**
  高温により変形、変色の原因となります。
- **■食器かごの金属(無塗装)部分に本体が直接触れないようにしてください。**
  塗装の劣化、キズ、変形の原因となります。
- **■業務用の食器洗浄機・乾燥機では使用しないでください。**

パッキンの取り付け方

正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。
お手入れなどでふたキャップパッキンを取りはずした後は、正しく取り付けてください。

ふたキャップパッキンの取り付け方

ふたキャップパッキンの平らな面を下にして、しっかり押し込んで取付けてください。



注意:パッキン位置、形状が異なることがございます。
現物の確認をお願いします。

交換部品

●ふたキャップパッキンは消耗品です。1年を目安に傷、損傷などが無いかを確認し不具合がある場合は使用をやめ、部品交換してください。

交換部品のご購入はこちらから
アトラスオンラインショップ
https://www.atlasonline.jp

製品仕様

品番		ステンレス製携帯用魔法瓶			
品名		ARSS-H221	ARSS-H301	ARSS-H401	ARSS-H501
材料の種類	本体	内びん／ステンレス鋼			
		胴　部／ステンレス鋼（樹脂塗装）			
		口　金／ステンレス鋼			
	ふたキャップ	ポリプロピレン			
	ハンドル	シリコーンゴム			
	パッキン	シリコーンゴム			
実容量		0.22L	0.3L	0.4L	0.5L
保温効力(6時間後)		66℃以上	71℃以上	74℃以上	74℃以上

＊保温効力とは室温20℃±2℃において製品に熱湯をふたキャップの下端まで入れ、湯温が95℃±1℃になった時、ふたキャップをして蒸置きにした状態で6時間放置した場合におけるその湯の温度です。

＊実容量とは、ふたキャップパッキンまでの全容量です。ご使用の際は取扱説明書をご確認のうえ、適切な量を入れてご使用ください。

MADE IN CHINA

表示者　株式会社アトラス
192-0046　東京都八王子市明神町4-7-15 落合ビル2F
https://www.atlas-scm.jp/

お問い合わせ
TEL.042-660-8870
受付時間／9:00～18:00
月～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、お買い求めの販売店までご連絡ください。

ATLAS

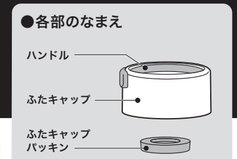
食洗機対応

ATLAS

Airlist（エアリスト）

超軽量ハンドル付きスリムマグボトル

●各部のなまえ



共通取扱説明書

ARSS-H01シリーズ

このたびは、当社のステンレスマグボトルをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用いただきますよう、お願いいたします。
また、本書は、万一ご使用中にわからなくなったときにお役に立ちますので、いつでもみられるところに大切に保管してください。

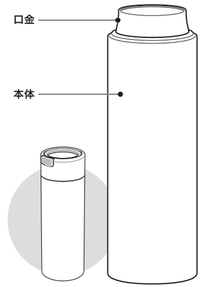
ご使用の前に

●はじめてご使用になる前に本体のキズ・凹み、ふたキャップのひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。

●底面の製造ロットシールははがさないでください。

●はじめてご使用になるときは、本体内側・ふたキャップを食器用洗剤をつけたスポンジなどでよく洗ってください。

※イラストは実際のものと異なる場合があります。また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。



⚠ ご使用上の注意

注 意

- **●乳幼児の手の届くところには置かないでください。**
  やけどの原因となります。
- **●飲みものの保温・保冷以外の目的では絶対に使用しないでください。**
- **●熱い飲みものを入れて本体外側が熱くなったり、冷たい飲みものを入れて結露する場合は、構造に不具合のある可能性がありますので使用しないでください。**

●熱い飲みものを入れた場合、次の点を必ずお守りください。
- ■ 断熱効果により、熱い飲みものを入れても外側は熱くなりません。熱くなる場合は使用しないでください。
- ■ 傾けた状態、または顔を近づけた状態でふたやキャップを開けないでください。
  内圧が上がり、飲みものが急激に出たり、飛散したりしてやけどの原因になり危険です。
- ■ 本体を急に傾けないでゆっくりと飲んでください。
  急に傾けると、飲みものが勢いよく出てやけどなどの原因になり危険です。

●飲みものの量は、取扱説明書4ページ右下の図を参考にしてください。
入れすぎるとふたやキャップが開かなくなったり、締めたときに飲みものが溢れ出す原因になります。また、使用中に漏れ、やけどやものを汚す原因になり危険です。

●大きな氷を入れる場合は押し込まず小さく砕いて入れてください。
キズが付くおそれや飲みものが溢れる原因となります。

●ふたやキャップを締めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。
飲みものが溢れ出す原因になります。また、漏れてやけどやものを汚す原因になり危険です。

●ふたやキャップパッキンが正しく取り付けられていることを8ページの図を参考に確認してご使用ください。
正しく取り付けられていないと飲みものが漏れ、やけどやものを汚す原因になり危険です。
ふたやキャップパッキンの取りはずしの際には紛失および未装着に注意してください。

●ふたやキャップが確実に締まっていることを確認してください。
締め方が不十分ですと、傾けた場合飲みものが漏れ、やけどやものを汚す原因になり危険です。

●ストーブやコンロなど火気のそばに近づけないでください。
やけどや製品の変形・変色の原因になります。

●電子レンジで加熱しないでください。火花が飛び危険です。ケガや事故、破損の原因になります。

●冷凍庫には入れないでください。

●本体の口金に熱いやかんなどをあてないでください。
口金の変形・キズ、転倒してやけどなどの原因となり危険です。

●飲み終わったら、本体を立て、ふたやキャップを確実に締めてください。
本体を傾けたりして飲みものが漏れないことを確認してください。

●ハンドルを持って振り回さないでください。

●飲みものを入れた状態で本体を逆さまにしないでください。

●製品の構造上、湿度が高いときにふたやキャップに水滴がつく場合があります。ご注意ください。

●次のものは絶対に入れないでください。
- ■ **アルコール類**
- ■ **ドライアイス・炭酸飲料水**
  内圧が上がり、ふたやキャップが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、ふたやキャップが破損して飛散することがあり危険です。
- ■ **牛乳・乳製品・果汁など腐敗しやすいもの**
  成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、ふたやキャップが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、ふたやキャップが破損して飛散することがあり危険です。
- ■ **お茶の葉・果肉**
  すきまなどにつまり、漏れてものを汚す原因になります。

●においの強いものを入れると、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。
6ページの「お手入れ方法」に従って汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。

●飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。
成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、ふたやキャップが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、ふたやキャップが破損して飛散することがあり危険です。

●お茶などは早めにお飲みください。長時間保存するとお茶の味が変わります。

●落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。
変形や割れ、保温・保冷不良の原因になります。また、ふたやキャップの破損の原因になります。

●改造・修理・分解は絶対にしないでください。破損、事故の原因となり危険です。

●バッグなどに入れるときは、本体を縦に置いてください。万一の漏れを防ぎます。

●パソコン・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。
万一、内容物が漏れた場合、精密機器の故障の原因になるおそれがあります。

●持ち運ぶ際は、次の点を必ず守ってください。
持ち運ぶ際は、ふたやキャップをきちんと閉め、本体かハンドルを持ってください。

●運転中は危険ですので使用しないでください。
車内や衣服を汚したり、ものを汚す原因となり危険です。また、運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。ドリンクホルダーに入れる場合は、あらかじめホルダーの強度を確認してからご使用ください。強度や固定が不十分ですと破損したり、はずれて落下のおそれがあり危険です。

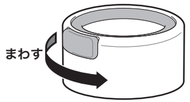
●使用により本体の塗装は徐々に劣化するおそれがあります。

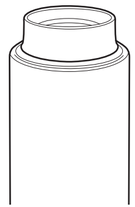
ご使用方法

ご使用の前に
- ●はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
- ●製品にガタつき、破損などはないか確認してからご使用ください。
  不具合があった場合、修理・分解はせずにご使用をおやめください。

1 ふたやキャップをはずす

ふたやキャップをはずします。





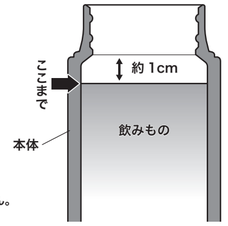
※ふたやキャップのハンドルははずせません。
無理にはずさないでください。

2 飲みものを入れる

飲みものの量は、下図の ➡ 部までにしてください。入れすぎるとふたやキャップを締めたときに中身が溢れる場合があります。入れすぎた場合は、減らしてからふたやキャップを締めてください。

＊あらかじめ、本体に熱湯（冷水）を入れ、1分程度置き、予熱（予冷）してから入れ替えると保温（保冷）に効果的です。

＊熱い飲みものを入れた直後は、数十秒置いてからふたやキャップをしてください。



3 ふたやキャップを締める

ふたやキャップを締めます。

＊ふたやキャップはしっかり締めてください。

＊熱い飲みものを入れた場合、噴き出ることがあります。絶対に振るなどしないでください。

＊ふたやキャップが開きにくくなった場合は、やけどに十分注意して必ず本体を立てた状態で布（タオルなど）をあてて、ゆっくりと開けてください。

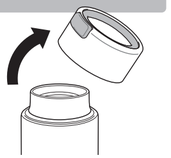


4 飲みものを飲む

ふたやキャップを開けて、ゆっくり傾けながら飲みものを飲んでください。

＊飲み口に残っていた水滴が飛散することがありますので、ご注意ください。

＊熱い飲みものを入れた場合は、やけどにご注意ください。



5 飲み終わったら

飲み終わったら本体を立て、ふたやキャップを締めます。

＊ふたやキャップはしっかり締めてください。

＊ふたやキャップを締めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。内容物が溢れ出たり、漏れたりして、やけどやものを汚す原因になります。



お手入れ方法

使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。
お手入れするときは、柔らかいスポンジでおこなってください。

本体（外側・内側）
ぬるま湯で薄めた食器用洗剤を柔らかいスポンジ・ブラシに含ませて洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

ふたやキャップ
ふたやキャップは丸洗いできます。スポンジで洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

パッキン
パッキンをふたやキャップから取りはずし、ぬるま湯で丸洗いし、乾いた布で水分を拭き取ってください。

食器洗浄機・乾燥機を使用する場合
ご使用になる食器洗浄機・乾燥機の取扱説明書をご確認のうえ、使用してください。

赤い斑点・ザラザラが付着した場合

ボトル内側にサビのような赤い斑点や、ザラザラしたものが付着した場合には

サビのような赤い斑点ができた場合
水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分程度放置した後、柔らかいスポンジ・ブラシなどで内びんの内壁をよく洗ってください。食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

ザラザラしたものが付着した場合
水に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、ふたやキャップを取り付けず3時間程度放置した後、柔らかいスポンジ・ブラシなどで内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

食器洗浄機・乾燥機を使い、塗装面が白く変色した場合

白く変色したように見える場合は、食器洗浄機・乾燥機用洗剤の成分や、水垢・カルキが付着しているおそれがあります。気になる箇所に熱湯をかけ、すぐに乾いた布で拭き取ってください。ぬれたまま放置すると、水滴の跡が残る原因になります。本体が熱くなりますので、やけどに十分ご注意ください。